

【第2期八尾市総合戦略（前期戦略）における指標・KPI数値目標一覧】

資料6

○基本目標1 地域特性をふまえたまちづくりが進み、安全・安心に暮らせるまち

| | 指標・KPI | 単位 | 基準年度 | 基準値 | 参考値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 担当課 | 達成状況の原因分析、説明等 |
|------------|-----------------------------|-----|-------------|------|------|------|------|-------------|------|-------------|--|
| | | | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | | |
| 基本目標 指標 | 校区まちづくり協議会が多様な主体と連携した事業数 | 本 | R1 | 4 | 1 | 6 | 19 | 21 | 7 | コミュニティ政策推進課 | <p>実績値は上昇傾向にあり、目標を達成しているが、今後も地域住民が多様な主体（市民や地域、企業、NPO等）と協力・連携し、地域課題の解決に向けた活動が実践され満足度が高まっていくよう、課題共有や課題解決のアイデア創出・実践に向けた対話の場を創出し、更なる市民協働と地域自治の推進を図る。</p> <p>【令和5年度取り組み内容】</p> <p>①防災訓練（美園まち協と大阪経済法科大学） ②大正小学校区内のパトロール（大正まち協と八尾南産業クラブ、大正校友会） ③防災訓練（八尾まち協と近畿大学、大阪経済法科大学、（株）ラビス） ④交通安全運転講習会（南高安まち協と八尾自動車教習所） ⑤自主防災訓練（山本まち協とマクドナルド八尾高美町店）</p> |
| | つなげる支援室で支援調整などを行った件数 | 件 | - | - | - | 128 | 105 | 114 | 250 | 地域共生推進課 | <p>重層的支援体制整備事業の実施計画に基づく、相談支援体制を整えたことで、複合化・複雑化した課題を抱えた世帯にかかる相談が中心となり、つなげる支援室が総合調整を行い、誰ひとり取り残さない支援体制としている。さらに、令和5年度より重層的支援体制整備事業の開始に伴い、これまで自ら相談することができなかった状態の人に対して、社会福祉協議会に配置したコミュニティソーシャルワーカーが迅速に訪問して見極めを行うとともに、必要な場合は、寄り添い支援につなげる体制を整えた。</p> <p>さらに、課題が解決した後も、相談支援機関だけでなく、八尾市社会福祉協議会をはじめ、社会福祉法人、民間企業等や地域の住民団体と共に支援を行い、再び孤立させない体制づくりを進めている。</p> |
| 施策 KPI | 地域活動への参加状況 | % | R2 (速報値) | 61.9 | - | 59.6 | 57.3 | 58.4 | 69.0 | コミュニティ政策推進課 | 令和5年度実績は前年度対比で上昇しているが、基準年度以降減少傾向にある。引き続き、まち協における情報発信の向上につなげる研修の開催やまち協連絡会での意見交換や情報共有等、地域活動への参加を促す取り組みを行っていき、持続性の高い組織運営ができるようにやお地域まちづくりアドバイザーからの研修や面談だけでなく、コミュニティ推進スタッフを通じて地域の状況に応じた担い手の確保・育成等に関する提案や助言や情報提供の場の支援を行う必要がある。 |
| | 地区防災計画策定済み地区数 | 地区 | - | - | 0 | 1 | 2 | 3 | 28 | 危機管理課 | 地域の意向が強く反映される計画であり、取り組み内容の検討や丁寧な作り込みを進めていただいていることから、「策定済み」の段階に至るまで時間のかかる事業である。R5年度は防災活動が活発な1地区において「策定済み」となり、19地区が計画策定に取り組んでいる。R5年度からは計画策定をより推進するため、各地区に危機管理課職員の担当者を置き、積極的に地域に働きかけを行っている。また地区防災計画作成支援アドバイザーの派遣を進めるとともに、策定済地区については計画に基づく防災訓練を実施し、計画の再評価や見直しを行い、地域の防災力が向上するよう取組みを支援する。計画策定には地域の実情に応じた合意形成が必要となることから、各地域の計画策定の進捗が異なり、計画策定の機運が高まっていない6地区が策定に踏み出せていない状況である。危機管理課職員の地区担当者が出張所と連携し、積極的に地域に関わり、様々な機会を捉えて計画策定の必要性や重要性について理解を求めていく。 |
| | 大阪重点犯罪認知件数 | 件 | R1 | 295 | 272 | 296 | 294 | 357 | 245 | 危機管理課 | 大阪重点犯罪認知件数については前年に比べ60件程度多くなっている。各項目においては、部品ねらい件数及び特殊詐欺の件数が大きく増加しており、部品ねらいは前年比約1.57倍、特殊詐欺は前年比約1.76倍となっている。高齢者を狙った特殊詐欺については、府全体としても3年連続で増加しており、前年比で約600件以上増加し、特殊詐欺グループによる詐欺手法の多様化・巧妙化や闇バイトによる実行役の増加などが影響を及ぼしていると考えられる。今後も、関係団体と連携しながら継続した高齢者への注意喚起及び啓発の取組みを実施していく。 |
| | 避難行動要支援者名簿「同意リスト」を提供した小学校区数 | 地区 | R1 | 13 | 14 | 14 | 15 | 15 | 28 | 高齢介護課 | 避難行動要支援者名簿「同意リスト」および避難行動要支援者自身が記入する「わたしの避難計画」について、その趣旨をご理解いただき、対象者の把握や防災訓練への活用、土砂災害警戒区域に居住する重度の避難行動要支援者に対する福祉事業者の協力等の体制を強化できるよう、引き続き同意者リスト提供の小学校区数の増加を見込んでいく。 |
| | 「高齢者見守りサポーターやお」協力事業者の登録数 | 事業者 | R1 | 701 | 618 | 642 | 655 | 658 | 750 | 高齢介護課 | 事業者の新規登録もあれば廃止もあり、実績値が基準値を下回っている。また、令和2年度以降は毎年、増加しているが、令和5年度においては、微増となっている。引き続き、地域全体で高齢者を見守っていく意識の啓発を促し、加えて府とも連携し登録者増に努める。 |

●第2期八尾市総合戦略 前期戦略期間（令和3年度から令和5年度）における取り組み実績

| | |
|--------|--|
| 取り組み実績 | <p>【R3実績】</p> <p>施策KPI「地区防災計画策定済み地区数」は、住民が主体となって組織的に、かつ、地域ごとの特性に応じて災害に備えるために地区防災計画を策定した小学校区数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、地区防災計画策定の意向を示している地区に対して防災計画作成支援アドバイザーの派遣等を行い策定支援を行い、災害リスクの高い1地区で策定となった。</p> <p>施策KPI「避難行動要支援者名簿「同意リスト」を提供した小学校区数」は、市が災害時に高齢者や障がい者等自力での避難が難しいと思われる人の名簿（避難行動要支援者名簿）を作成し、災害時に取り残されないような体制づくりに取り組むために名簿の情報共有を行った校区まちづくり協議会数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、名簿掲載者に対する個人情報提供に関する同意確認や地域との調整を行い、災害に備えた市と地域の協働による体制整備に努めた。</p> <p>【R4実績】</p> <p>施策KPI「地区防災計画策定済み地区数」は、住民が主体となって組織的に、かつ、地域ごとの特性に応じて災害に備えるために地区防災計画を策定した小学校区数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、地区防災計画策定の意向を示している地区に対して防災計画作成支援アドバイザーの派遣等による策定支援を行い、災害リスクの高い1地区で新たに策定した。</p> <p>施策KPI「避難行動要支援者名簿「同意リスト」を提供した小学校区数」は、市が災害時に高齢者や障がい者等自力での避難が難しいと思われる人の名簿（避難行動要支援者名簿）を作成し、災害時に取り残されないような体制づくりに取り組むために名簿の情報共有を行った校区まちづくり協議会数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、令和4年度より同意者リストと合わせて、避難行動要支援者自身が記入した「わたしの避難計画」についても地域に提供し、対象者の把握や防災訓練に活用した。</p> <p>【R5実績】</p> <p>施策KPI「地区防災計画策定済み地区数」に係る取り組みとして、R5年度からは計画策定をより推進するため、各地区に危機管理課職員の担当者を置き、積極的に地域に働きかけを行った。</p> <p>施策KPI「「高齢者見守りサポーターやお」協力事業者の登録数」は、地域における高齢者の見守り活動の趣旨に賛同し、「協力事業者」として登録された事業者数をカウントする指標。市ホームページや市政だよりにて「高齢者見守りサポーターやお」制度周知や協力事業者の募集を行った。</p> |
|--------|--|

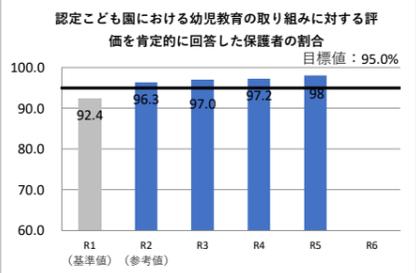
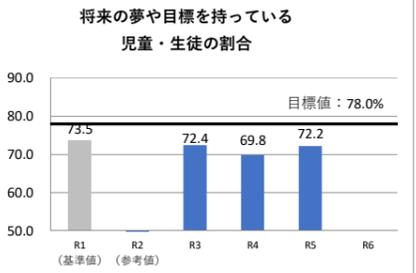
○基本目標2 みんなの健康をみんなで守る健康づくりのまち

| | 指標・KPI | 単位 | 基準年度 | 基準値 | 参考値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 担当課 | 達成状況の原因分析、説明等 |
|------------|---------------------------------|----|-------------|-------|------|----------------|----------------|-----------------------|------|-------|--|
| | | | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | | |
| 基本目標 指標 | 男性の健康寿命（前年数値） | 歳 | R1 | 79.3 | 79.3 | 79.63 （暫定値） | 78.82 （暫定値） | 78.75 （暫定値） | 80.5 | 保健企画課 | <p>健康寿命については前年度より減少しているが、それ以上に平均余命が減少しているため、不健康期間は減少している。また、基準値及び前年度との比較において、いずれも減少しているため、健康寿命の延伸に向けて更なる健康づくりの推進を図る必要がある。なお、健康寿命に関しては様々な要因が重なって影響を及ぼすことから、要因を特定することは非常に困難である。</p> |
| | 女性の健康寿命（前年数値） | 歳 | R1 | 83.4 | 83.1 | 83.05 （暫定値） | 84.03 （暫定値） | 83.1 （暫定値） | 84.6 | 保健企画課 | <p>健康寿命については、前年度より減少しているが、それ以上に平均余命が減少しているため、不健康期間は減少している。また、基準値及び前年度との比較において、いずれも減少しているため、健康寿命の延伸に向けて更なる健康づくりの推進を図る必要がある。なお、健康寿命に関しては様々な要因が重なって影響を及ぼすことから、要因を特定することは非常に困難である。</p> |
| 施策 KPI | 健康のために運動などを心がける市民の割合 | % | R2 （速報値） | 48.0 | — | 49.1 | 48.3 | 50.8 | 65.0 | 保健企画課 | 健康のために運動を心がける市民の割合は、前年度より増加した。令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、関係課と連携し、市民の主体的な健康づくりの取り組みの支援及び地域における健康づくりの推進に取り組んだ。令和6年度の目標達成に向けて、引き続き、地域のコミュニティ、医療機関及び関係機関・企業並びに大学・研究機関との連携、協力のもと、市民が運動をはじめとする健康づくりに主体的に取り組み、地域全体で支えていくことができるよう環境整備を推進する。 |
| | 国民健康保険加入者における特定健康診査受診率【※出納閉鎖時点】 | % | R1 | 29.99 | 28.1 | 30.0 | 33.0 | 33.5 | 60.0 | 健康保険課 | 受診率については目標値に達していないものの、コロナ禍前の状況にまで回復している。今後も引き続き、受診勧奨、啓発への創意工夫等を検討するとともに、関係機関との連携を図りつつ受診率の向上に努める。 |
| | 「かかりつけ医」を持っている市民の割合 | % | R2 （速報値） | 74.2 | — | 73.3 | 73.2 | 77.6 | 80.0 | 保健企画課 | 外来診療機能の充実を図るため、国によるかかりつけ医に関する制度整備を見据えつつ、市民及び医療機関に対し、かかりつけ医の必要性及び役割について引き続き普及啓発等を行っていく。 |

●第2期八尾市総合戦略 前期戦略期間（令和3年度から令和5年度）における取り組み実績

| | |
|--------|--|
| 取り組み実績 | <p>【R3実績】 施策KPI「健康のために運動などを心がける市民の割合」は、毎年実施している市民意識調査での「あなたは、健康のために運動を心がけるなど、自主的に何か取り組みをしていますか。」との問いに対して、「している」と回答した人の割合。本施策KPIに係る取り組みとして、新型コロナワクチンの集団接種会場で高齢者の方に、ワクチン接種後も感染症予防対策を続けてほしいことや、コロナ禍の生活の中で意識してほしいこと等を掲載したチラシを配布した。</p> <p>施策KPI「国民健康保険加入者における特定健康診査受診率【※出納閉鎖時点】」は、国民健康保険加入者に対して生活習慣病予防を目的にメタボリックシンドロームの状態にあるかを検査する特定健康診査の受診率。本施策KPIに係る取り組みとして、未受診者に対して電話や対象者の状況に応じた異なるデザインの通知による受診勧奨を行った。</p> <p>【R4実績】 施策KPI「国民健康保険加入者における特定健康診査受診率【※出納閉鎖時点】」は、国民健康保険加入者に対して生活習慣病予防を目的にメタボリックシンドロームの状態にあるかを検査する特定健康診査の受診率。本施策KPIに係る取り組みとして、未受診者に対して電話や対象者の状況に応じた異なるデザインの通知による受診勧奨を行った。</p> <p>【R5実績】 施策KPI「健康のために運動などを心がける市民の割合」に係る取り組みとして、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、関係課と連携し、市民の主体的な健康づくりの取り組みの支援及び地域における健康づくりの推進に取り組んだ。</p> <p>施策KPI「「かかりつけ医」を持っている市民の割合」に係る取り組みとして、市民及び医療機関に対し、かかりつけ医の必要性及び役割について普及啓発等を行った。</p> |
|--------|--|

○基本目標3 若い世代が自分の将来を見つめ学び、ライフプランが実現できるまち

| | 指標・KPI | 単位 | 基準年度 | 基準値 | 参考値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 担当課 | 達成状況の原因分析、説明等 |
|----------------------------------|--|----|------|-------|--------|--------|------------|---------------|--------|---|---|
| | | | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | | |
| 基本目標 指標 | 認定こども園における幼児教育の取り組みに対する評価を肯定的に回答した保護者の割合 | % | R1 | 92.4 | 96.3 | 97.0 | 97.2 | 98.0 | 95.0 | こども施設運営課 | 園運営に概ね満足していただいているなかで、質問のうち「外部侵入者対策（門の施錠・来園者の安全管理など）をしている」に関して、他の質問に比べると、「そう思う」の回答が少なかったことから、更なる外部侵入者対策の徹底に努める。  |
| | 将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合 | % | R1 | 73.5 | — | 72.9 | 69.8 | 72.2 | 78.0 | 教育センター | 新型コロナウイルス感染症が5類になり、学校・地域行事が徐々に再開され、上級生や異なる世代との交流の機会が増えたことから、将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合の増加につながった。  |
| 施策 KPI | 子ども・子育てに関する総合相談件数 | 件 | R1 | 9,683 | 11,655 | 11,687 | 13,654 | 15,216 | 12,000 | こども・いじめ何でも相談課 | 近年、子育てをとりまく環境や保護者の悩みは多様化傾向にあるほか、子どもや子育てに関する総合相談窓口である「こども総合支援センターほっぷ」について、継続して広報を展開した結果、気軽に子育て相談ができる窓口と認知されたことで、相談件数が増加したと考えられる。 |
| | 地域子育て支援拠点における相談件数 | 件 | R1 | 2,807 | 3,142 | 2,702 | 4,574 | 4,782 | 3,400 | こども健康課 | 事業実施にあたっては、地域子育て支援センターの「公園で遊ぶ会」や「プレママ・親子相談・交流会」等について、支援が届きにくい地域を選んでその地域の公園や公民館等へ出向くといった工夫をするなど、周知に努めたこともあり、相談件数の目標値を達成している。 |
| | 教育・保育入所受入れ枠（4月1日時点） | 人 | R1 | 8,306 | 8,517 | 8,725 | 8,771 | 8,791 | 9,314 | 保育・こども園課 | 計画に沿った形で施設整備や各園協議を行い、教育・保育枠の受入れ枠の増を進めており、待機児童は継続して0である。（R5.4新設3園） |
| | 障がい児保育（保育サポート枠）の保育施設入所児童数（4月1日時点） | 人 | R1 | 194 | 212 | 212 | 217 | 222 | 220 | 保育・こども園課 | 各園協議の中で保育サポート枠の確保はできている。目標値の達成維持に向け、継続して各園への利用調整及び保護者への利用案内を進めていく。 |
| | 「学校に行くのは楽しい」と答えた児童の割合（児童：小学校6年生） | % | R1 | 85.8 | 87.0 | 85.3 | 84.6 | 84.9 | 87.5 | 学校教育推進課 | 「学校に行くのが楽しい」と答える背景には、学習面やクラブ活動、仲間のかかわりや行事など、様々な要因が関連していると考えられる。R5年度の実績値は、小学校・中学校ともに目標値には達していないものの、昨年度の実績値に比べて高い値となった。子どもが主体となる活動を通して、自己肯定感・自己有用感を高める取り組みを推進している中で、子どもたちが学校の楽しさを感じられるようになってきていると考えられる。引き続き、目標値の達成に向け、より一層魅力的な学校づくりを図る。 |
| | 「学校に行くのは楽しい」と答えた生徒の割合（生徒：中学校3年生） | % | R1 | 80.5 | 80.1 | 80.7 | 81.4 | 82 | 87.5 | 学校教育推進課 | |
| | 子ども・若者の健全育成に係る事業数 | 件 | R1 | 341 | 108 | 128 | 203 | 254 | 352 | 生涯学習課 | 八尾市青少年育成連絡協議会主催の八尾市こども会親善つなぎ大会や八尾市こども会連合親善ソフトボール大会などの青少年健全育成を支援する事業を引き続き実施したことに加え、各地区でもコロナ禍からの活動再開が進んだことにより、前年の実績を上回ることができた。 |
| 定住を目的とした住宅の新築・購入・リフォーム等への支援数【累積】 | 件 | R1 | 426 | 443 | 520 | 592 | 650 | 606 | 住宅政策課 | 木造住宅耐震改修補助制度を活用し、17人が住宅の耐震化を行った。 また、中古住宅流通促進補助を活用し、9人が住宅を取得した。 さらに空家の相続など空家の管理・活用方法に関するセミナーを実施し、32人の参加者があった。 令和5年度は合計58人に対して支援を実施した。 | |

●第2期八尾市総合戦略 前期戦略期間（令和3年度から令和5年度）における取り組み実績

| | |
|--------|--|
| 取り組み実績 | <p>【R3実績】 施策KPI「子ども・子育てに関する総合相談件数」は、子育て総合支援ネットワークセンター「みらい」での総合相談件数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、令和4年度のこども総合支援センターの開所に向け、子育て総合支援ネットワークセンターの人員体制を段階的に整備し、子育て相談・発達相談機能の拡充に取り組んだ。施策KPI「教育・保育入所受入れ枠（4月1日時点）」は、八尾市子ども・子育て支援事業計画で定める認定こども園等の入所受け入れ枠をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、認定こども園等の施設整備や各園協議を行い保育枠拡大に取り組んだ。</p> <p>【R4実績】 施策KPI「子ども・子育てに関する総合相談件数」は、八尾市こども総合支援センターでの総合相談件数（令和4年10月までは子育て総合支援ネットワークセンター「みらい」での総合相談件数）をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、こども総合支援センター「ほっぷ」を令和4年10月に開設し、気軽に交流・相談できる環境を整えた。 施策KPI「教育・保育入所受入れ枠（4月1日時点）」は、八尾市子ども・子育て支援事業計画で定める認定こども園等の入所受け入れ枠をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、新たに認定こども園等を3園整備して保育枠の拡大を図った。4年連続で待機児童ゼロを実現することができた</p> <p>【R5実績】 施策KPI「子ども・子育てに関する総合相談件数」は、「八尾市こども総合支援センターほっぷ」での総合相談件数をカウントする指標。継続して広報を展開した結果、気軽に子育て相談ができる窓口と認知されたことで、相談件数が増加した。 施策KPI「教育・保育入所受入れ枠（4月1日時点）」に係る取り組みとして、新たに認定こども園等を2園整備して保育枠の拡大を図り、5年連続で待機児童ゼロを実現することができた。</p> |
|--------|--|

○基本目標 4 誰もが自分の持つ能力や経験を活かし、地域や職場で活躍できるまち

| | 指標・KPI | 単位 | 基準年度 | 基準値 | 参考値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 担当課 | 達成状況の原因分析、説明等 |
|------------|----------------------------------|----|-------------|--------|--------|--------|--------|---------------|---------|-------|--|
| | | | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | | |
| 基本目標 指標 | 住民主体活動に参加している在宅高齢者の割合 | % | R1 | 1.2 | 0.6 | 0.7 | 1.0 | 1.6 | 3.0 | 高齢介護課 | <p>コロナ禍の状況で住民主体サービスや通いの場に参加を控える利用者や活動が休止となる団体があったが、徐々に活動を再開してきている。また、街かどデイハウスの住民主体サービスへの移行及び河内音頭健康体操やわかわかごぼうトレーニングのグループ立ち上げなど、住民主体活動が行われていることから参加者数が増加してきている。今後も、住民主体活動の継続及び立ち上げ支援の取り組みを進めていく。</p> |
| | 男女共同参画が実現していると思う市民の割合 | % | R2 (速報値) | 29.9 | - | 27.5 | 28.4 | 27.7 | 34.7 | 人権政策課 | <p>イベント等を通じ、男女共同参画社会の実現をめざしているが、目標値には及ばなかった。</p> |
| 施策 KPI | シルバーリーダー養成講座修了者数 | 人 | R1 | 43 | 0 | 26 | 33 | 29 | 80 | 高齢介護課 | <p>令和5年度は基準値を下回ることとなった。多くの高齢者に興味をもっていただけるよう講座内容のリニューアルなどを行い、参加者数は一定数確保できているが、連続講座に出席できないなど修了条件に満たない受講者も多く、条件の見直しや講座内容の再検討も含め、効果的な周知に努め、地域で活躍できる人材の育成に向けて取り組んでいく。</p> |
| | 外国人相談窓口における相談件数 | 件 | R1 | 1,134 | 2,314 | 2,576 | 2,280 | 2,192 | 1,500 | 人権政策課 | <p>本市で生活する外国人の数は増加していることから、目標値を上回る相談件数となっている。本市における外国人の居住状況やこれまでの相談対応の実績をふまえて、外国人市民にとって、より利便性の高い相談窓口となるよう、取り組みを進めていく。</p> |
| | 市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合（年度末時点） | % | R1 | 33.0 | 32.9 | 34.5 | 35.0 | 35.5 | 39.0 | 人権政策課 | <p>審議会等への女性委員の登用に関するポジティブ・アクションプランを改定し、各審議会の特性に合わせた柔軟な働きかけを行うことで取り組みをすすめたが目標値には及ばなかった。</p> |
| | 生涯学習施設で実施する講座等の参加者数 | 人 | R1 | 92,995 | 18,670 | 33,262 | 32,772 | 44,511 | 111,000 | 生涯学習課 | <p>生涯学習センターを基幹として、市民ニーズを踏まえたテーマによる講座を実施するとともに、市内10館のコミュニティセンターと連携した定期講座等を実施し、市民の学習機会を提供することができたが、コロナ禍の影響により減少した生涯学習施設で実施する講座等の参加者数は、回復傾向にあるものの、コロナ禍前の水準には達していない。今後は、コロナ禍を経た市民や団体等のニーズに沿った生涯学習講座の実施や情報提供を行うなど、市民の学習意欲等を高めることが必要となる。</p> |

●第2期八尾市総合戦略 前期戦略期間（令和3年度から令和5年度）における取り組み実績

| | |
|--------|--|
| 取り組み実績 | <p>【R3実績】 施策KPI「外国人相談窓口における相談件数」は、八尾市が開設する外国人相談窓口での相談件数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、外国人相談窓口では、新型コロナウイルス感染症関連の問い合わせに対し、保健所や新型コロナワクチン接種担当部署と連携して相談対応を行った。 施策KPI「市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合（年度末時点）」は、八尾市が設置している審議会、委員会などにおける女性委員数の割合。本施策KPIに係る取り組みとして、審議会等への女性委員の登用に関するポジティブ・アクションプランの改定や管理職への男女共同参画研修を実施し、男女共同参画に関する理解と認識を深めた。</p> <p>【R4実績】 施策KPI「シルバーリーダー養成講座修了者数」は、65歳以上の人の知識・教養の向上を図るとともに地域活動の実践者を養成するために市が実施する講座を修了した人をカウントする指標。多くの高齢者に興味をもっていただけるよう講座内容のリニューアルなどを行うことで、参加者数の増加を図った。 施策KPI「市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合（年度末時点）」は、八尾市が設置している審議会、委員会などにおける女性委員数の割合。本施策KPIに係る取り組みとして、審議会等への女性委員の登用に関するポジティブ・アクションプランに基づき管理職への男女共同参画研修を実施し、男女共同参画に関する理解と認識を深めた。</p> <p>【R5実績】 施策KPI「生涯学習施設で実施する講座等の参加者数」は、生涯学習センター（かがやき）及び各コミュニティセンターにおいて実施した講座等の参加者をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、生涯学習施設において、臨時休館期間なく、継続して市民に学習の機会を提供することができた。</p> |
|--------|--|

○基本目標 5 経済成長を推進する、未来志向の産業振興をめざすまち

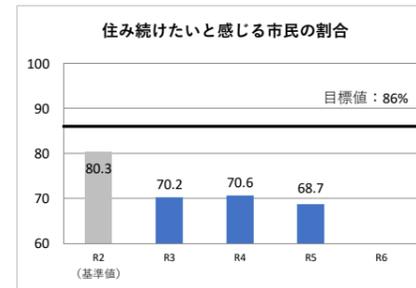
| 指標・KPI | 単位 | 基準年度 | 基準値 | 参考値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 担当課 | 達成状況の原因分析、説明等 | | |
|------------|-----------------------------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|--|---|
| | | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | | | | |
| 基本目標 指標 | 立地制度活用による工場立地件数 | 件 | R1 | 9 | 6 | 11 | 7 | 7 | 10 | 産業政策課 | <p>増加に至らなかった理由として、事業用地の枯渇が挙げられる。 (令和5年度の「八尾市ものづくり集積促進奨励金制度の指定件数を数値目標としているが、昨年度実施した移転意向のある市内事業者アンケートから、「近隣に事業用地となる土地が無い」という回答が50%を占め、市外から新たな流入促進が難しい状態になっており、また、老朽化し手狭になったが、事業用地を市内に確保することも難しい。その結果として、工業立地件数が目標を達成できなかったと分析する) 昨年度10月より「工場用地マッチングサービス」を開始し、八尾市内で事業用地や空き工場をお探しの製造業の方と土地を提供したい方をマッチングするサービスの運用を開始した。</p> | <p>立地制度活用による工場立地件数 目標値：10件</p> |
| | 産業分野にかかわる関係人口の対基準年度比率 | % | R1 | 100.0 | 15.0 | 55.9 | 132.1 | 138.3 | 125.0 | 産業政策課 | <p>まちのコインの利用者やスポット登録者の促進を図り、また、みせるばやおや商店街イベント等で、まちのコインが活用される機会も増加し、関係人口が増加した。</p> | <p>産業分野にかかわる関係人口の対基準年度比率 目標値：125%</p> |
| 施策 KPI | 地域就労支援センターにおける相談者の雇用達成の割合 | % | R1 | 44.1 | 35.9 | 26.9 | 26.7 | 30.8 | 40.0 | 労働支援課 | <p>新型コロナウイルス感染症の分類が5類へと移行したが、依然として就労困難者等には厳しい雇用情勢が続いている。令和5年度においては、地域就労支援コーディネーターと企業開拓員等の連携強化により、相談者に適した求人情報を提供する機会が増え、雇用達成割合の増加につながったと考えられる。引き続き就労実現に結びつくよう、きめ細かな職業紹介・就労相談を行うことにより雇用達成率の増加をめざす。</p> | |
| | 中小企業におけるイノベーション実践数 | 事業 | R1 | 55 | 113 | 689 | 121 | 124 | 63 | 産業政策課 | <p>「意欲ある事業者経営・技術支援補助金」により、エネルギー、原材料価格等の物価高騰に係る対策として取り組む新製品・技術開発や新分野進出等経営・技術革新の支援を実施したことにより、イノベーション実践数が目標値を大きく上回った。</p> | |
| | 八尾市立中小企業サポートセンター相談件数 | 件 | R1 | 1,248 | 1,149 | 1,217 | 1,178 | 1,207 | 1,300 | 産業政策課 | <p>セミナーの実施回数の増加や支援機関などネットワークが広がり、多方面から新規企業との接触する機会が増え、相談件数が増加した。</p> | |
| | 次世代企業家育成において市内企業がメンター役を担う割合 | % | - | - | 21.0 | 60.9 | 48.3 | 53.6 | 50.0 | 産業政策課 | <p>創業支援事業を中心に市内事業者積極的に参画していただき、目標を達成できた。</p> | |

●第2期八尾市総合戦略 前期戦略期間（令和3年度から令和5年度）における取り組み実績

| | |
|--------|---|
| 取り組み実績 | <p>【R3実績】 施策KPI「中小企業におけるイノベーション実践数」は、八尾市内の中小企業の新事業に挑戦するプロジェクト数として、環山楼塾、あきんど起業塾、デザインイノベーション等におけるビジネスプラン数並びに意欲ある補助金の申請件数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が国から交付されたことを受け、意欲ある事業者経営・技術支援補助金を大幅に拡充して事業者支援を実施したことにより、R3実績値は大幅増となった。新製品の開発、新分野進出、DXやIT化推進等といった支援を実施。 施策KPI「次世代企業家育成において市内企業がメンター役を担う割合」は、企業家を育成するセミナーとなる環山楼塾、あきんど起業塾、ゆるっとカフェ及びものづくりカレッジ並びに産業連携事業として開催する学ぶ場八尾の登壇者のうちの市内企業家の割合。R3年度実績値はR6数値目標としていた50%を超え60.9%となっている。市内の先輩企業家達が機会があれば講師として登壇し次世代企業家を育成し、その企業家が先輩企業家として次世代育成に寄与するという、地域内で循環するメンタリング制度が確立されてきている。</p> <p>【R4実績】 施策KPI「中小企業におけるイノベーション実践数」は、八尾市内の中小企業の新事業に挑戦するプロジェクト数として、環山楼塾、あきんど起業塾、デザインイノベーション等におけるビジネスプラン数並びに意欲ある補助金の申請件数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が国から交付されたことを受け、意欲ある事業者経営・技術支援補助金を拡充して、新製品の開発、新分野進出、DXやIT化推進等といった支援を実施した。</p> <p>【R5実績】 施策KPI「地域就労支援センターにおける相談者の雇用達成の割合」に係る取り組みとして、地域就労支援コーディネーターと企業開拓員等の連携強化により、相談者に適した求人情報を提供する機会が増え、雇用達成割合の増加につながった。 施策KPI「中小企業におけるイノベーション実践数」に係る取り組みとして、「意欲ある事業者経営・技術支援補助金」により、エネルギー、原材料価格等の物価高騰に係る対策として取り組む新製品・技術開発や新分野進出等経営・技術革新の支援を実施した。</p> |
|--------|---|

○基本目標6 行ってみたい、関わってみたい、住みつづけたい、魅力があふれるまち

| 指標・KPI | 単位 | 基準年度 | 基準値 | 参考値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 担当課 | 達成状況の原因分析、説明等 | |
|--------|-----------------------------------|------|-------------|------|-------|-------|-------|--------------|-------|----------------------|---|
| | | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | | | |
| 基本目標指標 | 住み続けたいと感じる市民の割合 | % | R2 (速報値) | 80.3 | - | 70.2 | 70.6 | 68.7 | 86.0 | 政策推進課 | <p>前年度と比較して定住意向の割合は1.9ポイント減少したが、「いずれ市外へ引っ越したい」と回答した人の割合も1.4ポイント減少している。一方、「わからない」と回答した人の割合は2.6ポイント増加しており、八尾市に住み続けるかどうか決めかねている人が増加している。</p> <p>また、八尾市外に引っ越したい理由として「まちなみの景観や自然、静けさや治安などの住環境を求めて」の割合が最も高く、次いで「通勤・通学に便利な環境を求めて」が高くなっている。</p> <p>「まちなみの景観や自然、静けさや治安などの住環境を求めて」については、全世代で引っ越し理由の上位に挙げられており、住環境への満足度が低くなっている。</p> <p>「通勤・通学に便利な環境を求めて」について、若者世代が引っ越したい理由の最も上位に挙げられている。進学や就職が要因と考えられる。一方、調査回答者の通勤・通学先の割合は八尾市内、大阪市内、東大阪市や柏原市が74.1%となっており、これらの地域への鉄道面でのアクセスは良好と考えられるため、最寄りの鉄道駅までの距離の遠さが通勤・通学の利便性が低いと感じる要因と考えられる。</p> |
| 施策KPI | 適切な土地利用が図られ、暮らしやすいまちになったと感じる市民の割合 | % | R2 (速報値) | 38.9 | - | 36.8 | 36.1 | 36.5 | 40.0 | 都市政策課 | <p>指標は、R5年度市民意識調査の設問、「都市部ではそれぞれの地域特性に応じた住宅、工業、商店が立地し、郊外部では市街化が抑制され、自然環境の保全が図られていると思いますか」を活用している。実績値は「思う」「少し思う」の合計が36.5%となり昨年度に比べると微増となっている。また「わからない」「無回答」は合計24.9%、「あまり思わない」「思わない」は合計38.6%となっていることから、都市計画手法を活用した魅力ある都市づくりを推進し、地域特性に応じた適切な土地利用を図っていく必要がある。</p> |
| | 都市計画道路の整備率 | % | R1 | 55.2 | 55.4 | 55.5 | 55.7 | 55.9 | 56.2 | 都市基盤整備課 | <p>都市計画道路J R八尾駅前線や、久宝寺線の整備を実施した。</p> |
| | コト体験型ツアーの参加者の満足度 | % | - | - | - | 97.8 | 98.0 | 94.6 | 88.0 | 観光・文化財課 | <p>コト体験型ツアーを22事業実施し、延べ117名の参加者となった。多種多様な体験プログラムの企画や非日常体験ができるプログラム内容、会員企業と連携したツアーの作成など、新たな参加者層を開拓することで、高い満足度を維持することができた。今後においても、プログラム数の増加とともに、企業連携を深めながら、より高い満足度をめざしていく。</p> |
| | インスタグラムフォロワー数 | 人 | R1 | 655 | 1,504 | 1,985 | 2,165 | 2,309 | 4,000 | やおプロモーション・万博推進プロジェクト | <p>投稿やプロフィールの閲覧割合は非フォロワーが多くを占める傾向にあり、ハッシュタグ等の活用による広範囲なアプローチは継続してきている。フォロワーの増加数については、昨年度より大きな変化が見られず、投稿頻度が低いことや魅力的なコンテンツを発信できていないことが要因であると考えられる。</p> |



●第2期八尾市総合戦略 前期戦略期間（令和3年度から令和5年度）における取り組み実績

| | |
|--------|--|
| 取り組み実績 | <p>【R3実績】 施策KPI「都市計画道路の整備率」は、都市計画道路整備の進捗率を示す指標。本施策KPIに係る取り組みとして、J R八尾駅前線の用地買収や久宝寺線の文化財発掘調査等を進めた。 施策KPI「インスタグラムフォロワー数」は、インスタグラムの八尾市公式アカウントにおけるフォロワー数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、インスタグラムで八尾のことを発信しているユーザーに本市公式インスタグラムの存在を周知すること等でフォロワー数の増加に努めた。</p> <p>【R4実績】 施策KPI「コト体験型ツアーの参加者の満足度」は、八尾市観光協会が提供する体験プログラム「八尾物語」の参加者の満足度の割合。八尾空港から飛び立つ遊覧飛行や、河内木綿の藍染体験等の非日常体験ができるプログラムを実施した。 施策KPI「インスタグラムフォロワー数」は、インスタグラムの八尾市公式アカウントにおけるフォロワー数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、インスタグラムの八尾市公式アカウント非フォロワーへのアプローチとして、ハッシュタグ等を活用した投稿を継続して行い、フォロワー数の増加に努めた。</p> <p>【R5実績】 施策KPI「インスタグラムフォロワー数」に係る取り組みとして、投稿やプロフィールの閲覧割合は非フォロワーが多くを占める傾向にあることから、ハッシュタグ等の活用による広範囲なアプローチを継続して行った。</p> |
|--------|--|